



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



Bhichai Rattakul
 RI President, 2002-03

**慈愛の種を
 播きましょう**

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

識字率向上月間

第751回 平成14年 7月24日(水)

〔本日のプログラム〕

- | | |
|------------|------|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ローターソング | |
| 「我等の生業」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 会員卓話 | 君 |
| | 太田 忍 |
| 8. 点 | 鐘 |

クラブ協議会

次回予告

- ★ 7月31日(水)
 世界社会奉仕
 について
 100万ドル食事

- ★ 8月7日(水)
 会員卓話
 堀口英秋 君
 8月のセレモニー
 理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会長	宮原 建樹
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	中武 幹雄
	☎880-0212	会計	佐藤 高元
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第750回例会記録

(2002. 7. 17)

☆会長の時間

会長 宮原建樹君

皆様今日は。本日は第750回の例会です。

台風が6号、7号とたてつづけに襲来しましたが、何とかたいした被害もなく、早期水稲で稲刈り間近の農家の方々もほっとしておられることと思います。こんな予想外れは大いに結構なことですね。

今日はプログラムでは情報集会（炉辺会合）となっておりますが、情報委員長の岩下君と副委員長の堀口君も欠席しておられますので、委員会報告の中で、情報集会の進め方や持ち方を私から説明させていただきます。

又、今日は2週間ほど例会を休まれ、ヨーロッパの方に種苗業界の視察に行っておられた梶田会員の特別卓話をお願いしておりましたが、本日もやむなき事情のため、欠席しておられますので、次週にでもお願いしたいと思います。

それから、楽しい例会作りの一つとして時間が余った時、会員の3分間スピーチ以外にセレモニーで結婚祝いをされた会員に結婚当時の苦労話やなれそめ等のお話をして頂きたいと思っております。今月は林厚雄君、岩切徳夫君です。

よろしく！

この様にあの手、この手で皆様にステージに立って、色々スピーチをしてもらいたいと思います。

ご協力お願い致します。

☆幹事報告

幹事 中武 幹雄君

1. 例会変更及び休会通知

①7月31日（水）は

場所 河川学習館（リバーパルクカヌー）に変更

延岡RC

②8月6日（火）は2クラブ合同納涼例会のため、

時間 18:30~

場所 霧の蔵ブルワリー 〇に変更

都城RC

都城北RC

③7月31日（水）は特別休会

8月7日（水）は納涼例会のため、

時間 18:30~

場所 ホテル中山荘 〇に変更

都城西RC

2. ロータリーの友英語版の注文受付が来ております。希望者は申し込み下さい。当クラブでは2部注文の予定です。1部は佐土原高校へ進呈し、1部は当クラブで所有します。

3. ガナ月信の訂正が来ております。これはコピーして皆様にお渡し致します

4. ガバナー事務所より、RI会長主催会議参加募集についてのFAXが来ております。会場はマレーシアのクランブル
期間は8月9日~11日迄
希望の方はお申し込み下さい。

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会 員 数	27名
例会出席者	20名
出席率	74%
メイクアップ者数	2名
修正出席率	81%
欠席者名	神崎、宮本、畑、鯉、棚

☆市町村合併について

岩切正司君

このところ私はインターネットで市町村合併について勉強しております。

近頃新聞、テレビ等マスコミでも良く市町村合併のニュースは取り上げられておりますが、現在日本では3,200位の市町村が有り、国としてはこれを1,000市町村位に数を減らしたい、何故今、市町村合併を進めるのか、国の考え方は地方交付税(国から地方自治体へ交付される金)を少しでも減らしたいとの意向、自治体では自主財源(町税等)と地方交付税で運営をしています。インターネットを開いて見ますとこの自主財源より、地方交付税で賄う市町村の方が多いたの事、国としても600兆円の借金を抱え、どうにもならなくなったから、合併を進めている…というのが本音の様です。期限を切って、2005年の3月迄に合併が出来たら色々特典が有ります、と『アメ』用意しているとの事。逆算して、今年1年で何処と合併をするかという事を決めなければいけない…ということになります。

過疎地と言われる所がありますが、過

疎地域に住んでいる人達は1億2千万人の内、僅か700万人、面積は国土の1/2、いかに人口が狭い地域に集中しているかが分かります。この狭い日本国土を充分に活用していないのです。合併問題も県の方で相手を色々決めてくれているようです。ご存知の通り、1市6町、宮崎市と宮崎郡、児湯郡と佐土原町、新富町と佐土原町の4件の案が出ています。

良く話がある、新富町と当町の合併は人口が5万人で、5万人位では余りメリットが無く、適正規模があり、25万人位の人口が経費の効率が1番いいとの事。もう一つは中核都市になると県が開発工事等色々委託出来、今回イオンの問題も中核都市である宮崎市が決定しています。

(本日の宮田に観覧されていました)

色々議論もあることと思いますが、今の所、佐土原町も何とか財政も問題ないようですが、これが貧乏になって来ると声が掛からなくなり、噂も立たなくなる、声が掛かる内が『花』です。

2005年に市町村合併を断行、その5年後、2010年迄に日本で8ヶ所の道州を於いて合理化したい…との意向の様です。

前の市町村合併は、自転車とラジオが最先端の機器であった昭和28年、約50年前でした。中学校の校区割で一つの市町村を作った経緯があり、今はインターネット、車の時代、50年前の事はもう既に古いのかも分かりません。

私のインターネット上の勉強を今日は皆様にご披露致しました。

ご静聴ありがとうございました。

☆情報集会開催のやり方 について 会長 宮原建樹君

手続要覧によると、1981年度迄はFireside Meeting とあり、邦訳は炉辺会合であり、1984年版からはInformed Group Meeting に変わり、邦訳は1986年迄座談会に、1989年からは家庭集会になっています。

更に英文では、Small Group Discussion Meetings, またRIニュース1989~90年第2号では、Informal (Discussion) Meeting という表現もあります。何れにしても表現の相違はありますが内容は同じであると考えていいようです。

1982年『論題を持った談話』というパンフレットを国際ロータリーで作製する際に、Fireside Meeting をSeveral Group Discussion Meetingsに変えるという連絡が、RIから日本支局にあったが、その理由は、住宅の構造が変化し、暖炉を持つ家庭が殆ど無くなっているということであったとの事。

更に、1989年版の邦訳の際に、この会合は元来ロータリアンの家庭で開催されるべきものであるということから、家庭集会に改められました。

この会合の由来は、Fireside Meetingsにあり、その内容はロータリアンの家庭で開催する四角張らない小人数のグループ会合であるのが本来の姿である。従って開催の仕方には色々あるが、全てSmall Group Discussion Meetingsの1形式と考えるべき、との事。

○家庭集会の持ち方

- ① 議題を決める
- ② 出席者数の決定 (8~10人が理想)
- ③ ホスト家庭の同意を得る
- ④ ディスカッションリーダーを決める
- ⑤ 適切な話題をリード出来るリーダーを養成する。
- ⑥ 集会で得た成果を、クラブ理事会、会報編者、クラブ例会に報告する。

参加を促進するために

- ① 話題、日時、場所を広報する。
- ② 出席する会員を指名する
- ③ 少なくとも1ヵ月以前に開催日を予告する
- ④ ホストするメンバー又は該当委員会は、グループのメンバーを個人別に招待する働きかけが必要である

(山崎 忍会員の資料より)



Happy Voice

結婚のお祝いを頂き、ありがとうございました。

早いもので、結婚して26年の歳月が過ぎ去りました。いつもそばに居る時は何も感じませんが、用件があってお互いが居ないと何かと不便を感じます。

いつまでも二人健康で長生きしたいものです。

林 厚雄
初子

